

令和5年度 年間授業計画

東京都立駒場高等学校

教科名	国語	学年学科 (単位数)	3年普通科 (3単位)
科目名	現代文B	授業形態	必修
教科担当者			
使用教科書 副教材等	精選現代文B (東京書籍) 新訂国語図説 (京都書房) 現代文キーワード読解 (Z会) 共通テスト+センター試験国語過去問題 (尚文出版) 現代文単元別問題集大学入学共通テスト<第2版> (駿台文庫) 入試漢字コア2800 (桐原書店) 完成日本文学史ノート三訂増補版 (京都書房)		
目 標	(1) 近代以降の文章を的確に読み取り、自分の考えを深め発展させる。 (2) 国語で理解し表現する力を高め、国語を尊重して自己の国語力の向上に努める。 (3) 大学入試レベルの現代文問題を研究し、入試に対応する学力をつける。		
	予定 時数	項目・学習単元	学習内容・指導目標・留意事項
1 学 期	1 2	「舞姫」 森鴎外 「言語と記号」 丸山圭三郎	<ul style="list-style-type: none"> 文語小説の読み方を学ぶ。 言語論について学ぶ。
	1 1	「鏡の中の現代社会」 見田宗介 「サッカーの資本主義」 大澤真幸 「抗争する人間」 今村仁司	<ul style="list-style-type: none"> 近代を論じた評論を読み、現代の社会における自分の生き方について考える。 資本主義について理解を深め、社会に対する見方を広げる。 人間の社会性と倫理観について筆者の考察を理解し、人間に対する理解を深める。
2 学 期	1 5	問題集演習 (テーマ別) 1 思想・芸術 2 国際・地域 3 人間・環境 ・大学入学共通テスト問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 問題演習をとおり、記述力を含む解答力を養う。 大学入・学共通テスト問題演習をとおり、実践的な問題解答力を身につける。
	1 1	・問題集演習 (テーマ別) 1 物質・生命 2 数理・情報 ・大学入学共通テスト問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 大学入学共通テスト問題演習をとおり、実践的な問題解答力を身につける。 問題演習をとおり、記述力を含む解答力を養う。
3 学 期	1	大学入試対策演習	大学入学共通テスト問題演習をとおり、実践的な問題解答力を身につける。 問題演習をとおり、記述力を含む解答力を養う。
評価の 観点・方法	定期考査以外に、漢字の小テストを実施し、日常的な学習の積み重ねを大切にする。 また、副教材の文章を読ませることで多様な文章に接する機会を増やすとともに、 設問解答の方法に慣れさせ、それらを総合した形で定期考査問題を作成し、日常的 な学習活動の成果を加味して評価する。		

令和5年度 年間授業計画

東京都立駒場高等学校

教科名	国語	学年学科 (単位数)	3年 普通科(4)
科目名	古典B	授業形態	学校必履修
教科担当者			
使用教科書 副教材等	「新 探求古典B (古文編・漢文編)」(桐原書店) 新訂国語図説(京都書房) 体系古典文法(数研出版) 必携新明説漢文(尚文出版) わかる読める解ける古文単語330(いいずな) 共通テスト+センター試験国語過去問題(尚文出版) 改訂版 大学入学共通テスト演習古典(いいずな) 大学入試演習スタディアーク Step 3(第一学習社) 完成日本文学史ノート三訂増補版(京都書房)		
目 標	① 古典に親しみ、文化としての古典をより深く理解する。 ② 古文・漢文の基礎知識を確認し、長文読解の力を向上させる。 ③ 大学入試レベルの古典問題を研究し、大学入試に対応できる学力をつける。		
	予定 時数	項目・学習単元	学習内容・指導目標・留意事項
1 学 期	15	『源氏物語』「葵の上と物の怪」 「柏木と女三宮」「藤壺の里下がり」 「匂宮と浮舟」 史伝「荊軻」	助動詞や助詞などに留意しながら口語訳できる。 物語の世界を想像しながら、読み解いていくことができる。 句法や用字に留意して漢文を読み解くことができる。
	16	『枕草子』「大納言参りたまひて」 『蜻蛉日記』「嘆きつつひとり寝る夜」 『無名抄』「俊成自賛歌のこと」 『風姿花伝』 廉頗と藺相如「刎頸の交わり」 荘子「言大而無用」	助動詞や助詞などに留意しながら口語訳できる。さまざまな種類の文章を読み味わいながら読み解くことができる。 句法や用字に留意して漢文を読み解くことができる。
2 学 期	20	古文(説話、随筆、日記、物語) 問題演習 漢文(史伝、思想) 問題演習 大学入学共通テスト問題演習	問題演習をとおり、記述力を含む解答力を養う。
	15	大学入学共通テスト問題演習 古文(物語、評論、和歌) 問題演習 漢文(史伝、思想、漢詩) 問題演習	大学入学共通テスト問題演習をとおり、実践的な問題解答力を身につける。
3 学 期	1	大学入試対策演習	大学入学共通テスト問題演習をとおり、実践的な問題解答力を身につける。 問題演習をとおり、記述力を含む解答力を養う。
評価の 観点・方法	定期考査以外に、単語や漢文用字の小テスト、副教材の問題演習を実施し、基本的な文法事項や句法の定着に努めると共に、副教材の文章を自分で読むことで、古文や漢文を初読する練習を積ませる。定期考査以外に、日常的な学習活動を加味して評価を行う。		

令和5年度 年間授業計画

東京都立駒場高等学校

教科名	国語	学年学科 (単位数)	3年保(2)
科目名	古典B	授業形態	学校必履修
教科担当者	新村 敦		
使用教科書 副教材等	「新 探求古典B (古文編・漢文編)」(桐原書店) 新訂国語図説(京都書房) 体系古典文法(数研出版) 必携新明説漢文(尚文出版) わかる読める解ける古文単語330(いいずな) 共通テスト+センター試験国語過去問題(尚文出版) 改訂版 大学入学共通テスト演習古典(いいずな) 大学入試演習スタディアーク Step 3(第一学習社) 完成日本文学史ノート三訂増補版(京都書房)		
目 標	④ 古典に親しみ、文化としての古典をより深く理解する。 ⑤ 古文・漢文の基礎知識を確認し、長文読解の力を向上させる。 ⑥ 大学入試レベルの古典問題を研究し、大学入試に対応できる学力をつける。		
	予定 時数	項目・学習単元	学習内容・指導目標・留意事項
1 学 期	15	『源氏物語』「葵の上と物の怪」 史伝「荆軻」	助動詞や助詞などに留意しながら口語訳できる。 物語の世界を想像しながら、読み解いていくことができる。 句法や用字に留意して漢文を読み解くことができる。
	16	『無名抄』「俊成自賛歌のこと」 廉頗と藺相如「刎頸の交わり」	助動詞や助詞などに留意しながら口語訳できる。さまざまな種類の文章を読み味わいながら読み解くことができる。 句法や用字に留意して漢文を読み解くことができる。
2 学 期	20	古文(説話、随筆、日記、物語) 問題演習 漢文(史伝、思想) 問題演習 大学入学共通テスト問題演習	問題演習をとおり、記述力を含む解答力を養う。
	15	大学入学共通テスト問題演習 古文(物語、評論、和歌) 問題演習 漢文(史伝、思想、漢詩) 問題演習	大学入学共通テスト問題演習をとおり、実践的な問題解答力を身につける。
3 学 期	1	大学入試対策演習	大学入学共通テスト問題演習をとおり、実践的な問題解答力を身につける。 問題演習をとおり、記述力を含む解答力を養う。
評価の 観点・方法	定期考査以外に、単語や漢文用字の小テスト、副教材の問題演習を実施し、基本的な文法事項や句法の定着に努めると共に、副教材の文章を自分で読むことで、古文や漢文を初読する練習を積ませる。定期考査以外に、日常的な学習活動を加味して評価を行う。		

令和5年度 年間授業計画

東京都立駒場高等学校

教科名	国語	学年学科 (単位数)	3年保体科 (2単位)
科目名	現代文B	授業形態	必修
教科担当者			
使用教科書 副教材等	精選現代文B (東京書籍) 新訂国語図説 (京都書房) 現代文キーワード読解 (Z会) 共通テスト+センター試験国語過去問題 (尚文出版) 現代文単元別問題集大学入学共通テスト<第2版> (駿台文庫) 入試漢字コア2800 (桐原書店) 完成日本文学史ノート三訂増補版 (京都書房)		
目 標	(1) 近代以降の文章を的確に読み取り、自分の考えを深め発展させる。 (2) 国語で理解し表現する力を高め、国語を尊重して自己の国語力の向上に努める。 (3) 大学入試レベルの現代文問題を研究し、入試に対応する学力をつける。		
	予定 時数	項目・学習単元	学習内容・指導目標・留意事項
1 学 期	1 2	「舞姫」 森鷗外	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文語小説の読み方を学ぶ。 ・
	1 1	「鏡の中の現代社会」 見田宗介 「サッカーの資本主義」 大澤真幸	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近代を論じた評論を読み、現代の社会における自分の生き方について考える。 ・ 資本主義について理解を深め、社会に対する見方を広げる。
2 学 期	1 5	問題集演習 (テーマ別) 1 思想・芸術 2 国際・地域 3 人間・環境 ・ 大学入学共通テスト問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題演習をとおり、記述力を含む解答力を養う。 ・ 大学入・学共通テスト問題演習をとおり、実践的な問題解答力を身につける。
	1 1	・ 問題集演習 (テーマ別) 1 物質・生命 2 数理・情報 ・ 大学入学共通テスト問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学入学共通テスト問題演習をとおり、実践的な問題解答力を身につける。 ・ 問題演習をとおり、記述力を含む解答力を養う。
3 学 期	1	大学入試対策演習	大学入学共通テスト問題演習をとおり、実践的な問題解答力を身につける。 問題演習をとおり、記述力を含む解答力を養う。
評価の 観点・方法	定期考査以外に、漢字の小テストを実施し、日常的な学習の積み重ねを大切にする。 また、副教材の文章を読ませることで多様な文章に接する機会を増やすとともに、 設問解答の方法に慣れさせ、それらを総合した形で定期考査問題を作成し、日常的 な学習活動の成果を加味して評価する。		

令和5年度 年間授業計画

東京都立駒場高等学校

教科名	国語	学年学科 (単位数)	3年 普通科理系 (2)
科目名	古典B	授業形態	学校選択
教科担当者			
使用教科書 副教材等	数研出版：古典B 古文編 数研出版：古典B 漢文編 数研出版：体形古典文法八訂版 いいずな書店：重要古文単語330 桐原書店：漢文必携 京都書房：国語図説		
目 標	(1) 古典に親しみ、文化としての古典をより深く理解する。 (2) 古典の語彙、文法、常識を確認し、自力で読み解く力を向上させる。 (3) 高校2年レベル迄の実力定着を基礎に、大学入試に対応する学力をつける。		
	予定 時数	項目・学習単元	学習内容・指導目標・留意事項
1 学 期	12	<ul style="list-style-type: none"> ・「伴大納言の事」(『宇治拾遺物語』) ・「荆軻」(『史記』) 	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙、文法事項(識別・敬語)の確認。 ・和歌の理解。 ・漢文の基本構造、返読文字の確認。
	14	<ul style="list-style-type: none"> ・「香る香に」(『和泉式部日記』) ・「平車行」(『古文真宝』) 	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌の理解。 ・否定、疑問、反語などの句法の理解。
2 学 期	14	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試過去問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙、文法事項を生かした古文解釈。 ・評論、歌論などの文章読解。 ・使役、受身、詠嘆などの句法の理解。 ・大学入試過去問題(古文)の研究。 ・大学入試過去問題(漢文)の研究。
	14	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試過去問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙、文法事項を生かした古文解釈。 ・評論、歌論などの文章読解。 ・大学入試過去問題(古文)の研究。 ・抑揚、比較、比況などの句法の理解。 ・大学入試過去問題(漢文)の研究。
3 学 期	4	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試過去問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試過去問題(古文)の研究。 ・大学入試過去問題(漢文)の研究。
評価の 観点・方法	定期考査以外に、数多くの古文単語、古典文法、漢文法の小テストを実施し、実力で全日制高校卒業相応の学力に対する到達度を加味して総合的に評価する。		

令和5年度 年間授業計画		東京都立駒場高等学校	
教科	国語	学年 (単位数)	3年普通科 (2)
科目	現代文演習	形態	自由選択
教科担当者			
使用教科書 副教材等	特になし		
目 標	(1) 長文の評論の要約、小論文の作成などを通じて、論理的な文章を書く力を養う。 (2) 大学入試に対応していける文章執筆力を身につける。		
	予定 時数	指導内容	指導目標
1 学 期	8	○小論文の基礎 文章の書き方と構成	① 論理的な文章の書き方を理解する。 ② 原稿用紙の使い方を学ぶ。
	10	○小論文の基礎 文章の要約	① 評論文を中心に、長文を一定の字数の文章に要約するトレーニングを行う。 ② すぐれた要約例を参照し、研究する。
2 学 期	10	○小論文の実践	① 大学過去問を中心に、600字～800字の小論文を執筆するトレーニングを行い、表現力の向上を図る。 ② 互いに優れた作文例を参照し、研究する。
	10	○小論文の実践	① 大学過去問を中心に、600字～800字の小論文を執筆するトレーニングを行い、表現力の向上を図る。 ② 自身の志望大学の過去問例を研究する。
3 学 期	4	○小論文の実践	① 大学過去問を中心に、600字～800字の小論文を執筆するトレーニングを行い、表現力の完成をめざす。 ② 自身の志望大学の過去問例を研究する
評価の 観点・方法	出席と、提出物の内容で評価する。		

平成29年度 年間授業計画

東京都立駒場高等学校

教科名	国語	学年学科 (単位数)	3 学年保体科 (2)
科目名	古典B	授業形態	必修
教科担当者			
使用教科書 副教材等	古典B (第一学習社) 古文単語 (いっずな書店)・完全マスター古典文法 (第一学習社)・新明説漢文 (尚文出版)・センター試験国語過去問題 (尚文出版)		
目 標	① 古典読解に関する基本的知識の復習と確認。② センター試験過去問演習。		
	予定 時数	項目・学習単元	学習内容・指導目標・留意事項
1 学 期	1 2	沙石集「歌ゆゑに命を失ふ事」 今昔物語集「藤原為時、詩を作りて越前守 に任せらるる事」 荘子「雑篇 徐無鬼第二十四」	① 係助詞・接続助詞・助動詞・敬語の用法の復習確認。 ② 漢文の語順の確認
	1 4	源氏物語「紫の上の死」 史記「越世家第十一」	① 源氏物語概略の復習 ② 敬語・和歌の理解。 ③ 句法の理解 (使役・限定)
2 学 期	1 4	大鏡「時平と道真」 戦国策「西周巻第一」	① 敬語の定着 ② 歴史物語の理解 ③ 返読文字・反語の復習
	1 4	蜻蛉日記「うつろひたる菊」 和泉式部日記「夢よりもはかなき世の中」 センター試験過去問演習私大過去問対策	① 贈答歌の読解 ② センター試験過去問演習
3 学 期	4	センター試験対策	③ センター試験予想問題演習
評価の 観点・方法	定期考査を中心とする。その他の観点は以下の通り。 ・提出物。 ・主体的な授業への取り組み。		

平成29年度 年間授業計画

東京都立駒場高等学校

教科名	国語	学年学科 (単位数)	3年 (2)
科目名	古典B	授業形態	必修選択(普通科理系)
教科担当者			
使用教科書 副教材等	第一学習社 古典B 浜島書店 国語便覧 第一学習社 完全マスター古典文法 尚文出版 新明説漢文 いいずな書店 key&point 古文単語 尚文出版 センター問題集(平成23～28)		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典に親しみ、文化としての古典をより深く理解する。 ・ 古文・漢文の基礎知識を確認し、文章読解の力を向上させる。 大学入試レベルの古典問題演習を通し、センター試験に対応する学力をつける。		
	予定 時数	項目・学習単元	学習内容・指導目標・留意事項
1 学 期	10	沙石集「歌ゆゑに命を失ふ事」 無名抄「深草の里」 史伝(漢文) 「荆軻」	係助詞・接続助詞・助動詞・敬語の用法の復習確認。 漢文の語順の確認 基本的な古語の意味や文法事項の復習を兼ねて読解する。 ・時代を超えた人間の感性、人情への理解を深める。
	13	「荆軻」 源氏「須磨」 ②「何必曰利」(孟子) ③「侵官之害」(韓非子)	源氏物語概略の復習 敬語・和歌の理解。 句法の理解(使役・限定) 史伝に描かれた人物像を的確につかみ、優れた文章を味わう。
2 学 期	14	漢詩 大鏡「道長の豪胆」 ③玉勝間 「師の説になづまざる事」 ④西鶴諸国話 「大晦日は合はぬ算用」	作品に描かれた情景や、登場人物の感情・行動を理解し読解を正確なものにする。 敬語 歴史物語の理解 中世および近世の評論作品を通し、当時の人々や筆者の考え・観点を探る。
	14	センター試験過去問演習私大過去問対策	総合演習 時間内に正確な読解が出来るようトレーニングをする。
3 学 期	3	センター試験対策	時間内に正確な読解が出来るようトレーニングをする。
評価の 観点・方法	1. 評価の観点 ・基本的な文法事項、句法、語彙、古典の常識等がほぼ身についているか。 ・主体的に学習に取り組み、自己の目標に見合った取り組みができてきているか。 2. 評価の方法 ・定期考査・小テスト・提出物・授業への参加・発言		

令和 5年度 年間授業計画		東京都立駒場高等学校	
教科	地理・歴史	学年 (単位数)	3学年 普通科・保健体育科 (4)
科目	日本史B	形態	学校必履修選択科目
教科担当者			
使用教科書 副教材等			
『詳説日本史』(山川出版社)、『新詳日本史』(浜島書店)、『新詳述日本史史料集』(実教出版)、 自作プリント類など			
目 標			
日本の歴史の原始・古代・中世・近世前期を学び2年で学んだ近世後半以降の歴史を合わせて日本史を通史として完成させる。過去の社会・文化や歴史の流れを知ることにより歴史的認識を深め、現代に生きる意義を考えさせる。併せて大学進学に必要な学力を修得する。			
	予定 時数	指導内容	指導目標
1 学 期	18	日本文化のあけぼの ～ 平安朝廷の形成	旧石器文化・縄文文化・弥生文化の学習を通して日本文化の基底を探求し、古墳文化・飛鳥文化の学習を通して日本文化の基底となったものについて考察し、律令国家の成立とその展開の学習を通して日本における国家の成立と現代におけるその意義を考察する。
	24	貴族政治と国風文化 ～ 荘園と武士	律令制の日本化、弘仁・貞観文化の展開を学び日本の古代国家が日本の社会にどのような影響を与えたのかを学び、荘園公領制が形成されていく過程を学び、さらにそこから新たな中世社会が形成されていくことを学ぶ。
2 学 期	23	院政と平氏の台頭 ～ 武家社会の成長	院政の展開・平氏政権の成立・鎌倉幕府の成立とその展開・鎌倉文化の歴史を学び、武家政権の成立とその歴史的意義、鎌倉文化の歴史的意義などについて探求・考察する。南北朝動乱・室町幕府の成立とその支配の歴史を学びその歴史的意義と現代社会との関わりについて考察する。
	24	室町幕府の成立 ～ 幕藩体制の確立	東アジアでの日本の役割・位置などに考慮しながら、室町幕府支配の動揺、戦国動乱により地方分権体制が形成されたこと、織田信長により始められた統一事業が豊臣秀吉・徳川家康によって継承され徳川幕府による幕藩体制の成立のより統一事業が完成し、「鎖国」の完成により対外制度が整備されることで近世国家が完成する歴史的意義などを把握する。
3 学 期	8	幕藩体制の展開	17世紀後半の幕藩体制確立から社会・経済の発展に対する綱吉政権・新井白石の政治改革を学びそれらを受けて享保の改革が行われたことを認識させる。幕末から行った2年次の授業内容と接続し、日本通史を完成させる。
評価の 観点・方法		定期考査の成績を中心に到達度を評価する。 さらに、授業に取り組む態度、出席状況、授業中における質問への対応などを総合的に判断して評価する。	

令和5年度 年間授業計画		東京都立駒場高等学校	
教科名	地理・歴史	学年学科 (単位数)	3 学 年 普通科・保健体育科 (4)
科目名	世 界 史 B	授業形態	学校必履修選択科目
教科担当者			
使用教科書 副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 教科書 : 『 詳説世界史 世界史 B 』 (山川出版社) ◆ 副教材 : 『 アカデミア世界史 』 (浜島書店) ◆ 他 : プリント類 		
目 標	世界史で大学受験をする生徒たちを対象とした講座につき、歴史的思考力を養うことは言うに及ばず、更に志望校の入学試験に合格できるレベルの実力をつけさせることをも目標とする。		
	予定 時数	項目・学習単元	学習内容・指導目標・留意事項
1 学 期	24	ウィーン体制成立から第 1 次世界大戦まで	各国の産業革命の進行 帝国主義の成立 民族自決主義の台頭 総力戦体制 などについて、 教科書の地域別章立てを超えてグローバルに理解しグルー プ活動を入れながら論述を作成する。
	28	ヴェルサイユ体制成立から第 2 次世界大戦 まで	第 1 次大戦の処理のしかた 反帝国主義の高まり 国際協調主義の高まり 世界恐慌とブロック経済 ファシズムの台頭 などについて、教科書の地域別章立てを 超えてグローバルに理解し、グループ活動を入れながら論 述を作成する。
2 学 期	28	第二次大戦後の世界 古代・中世の通史	第二次大戦後の世界について、経年的に、グローバルに理 解し、グループ活動を入れながら論述を作成する。 2 単位の自由選択「古代・中世史」で触れきれなかったところ をさらう。経年的に、グローバルに理解し、グループ活動を入 れながら論述を作成する
	28	古代・中世の通史	2 単位の自由選択「古代・中世史」で触れきれなかったところ をさらう。経年的に、グローバルに理解し、グループ活動を入 れながら論述を作成する
3 学 期	24	◆総括	大学入試にむけて最後の調整をおこなう
評価の 観点・方法	†4回の定期考査の成績を中心に到達度をチェックし、評価と同時に、内容やポイントの 理解力、理解の程度等を把握する。 †授業に取り組む態度、出席状況等も含め、総合的に判断する。		

年間授業計画

科目(講座名)	政治・経済	2単位	必修	学年	3年
教科書 副教材	教科書：高校政治・経済 新訂版(実教出版) 資料集：最新図説 政経 浜島書店	教科担当			

1 教科の目標

広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係について客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある市民として必要な能力と態度を育てる。

2 科目の目標

【知識及び技能】
民主政治と日本国憲法、現代の国際関係の基本原則、基本的な見方や考え方を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】
理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現できるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】
政治や経済などに関する基本的な理解を踏まえ、持続可能な社会の形成が求められる現代社会の諸課題探究する活動を通して、望ましい解決の在り方について考察を深めさせる。

3 授業計画

期	月	学習内容	学習活動	評価基準	時数	
1 学期	4	序：社会科教育とは Ⅰ. 民主政治の基本原則 1. 米国公民権運動 2. 政治と法	<ul style="list-style-type: none"> ・米国で誕生した社会科教育教育、社会化、批判的思考など教育学に関する概念・用語を学習する。 ・米国公民権運動に関するビデオ作品 EYES ON THE PREIZE を観る。 ・政治、権力、国家、政府、主権などの本質・内実を学習する。 	知	・上記科目の目標の達成が達成できているか。	10
	5			思	・上記科目の目標の達成が達成できているか。	
6	7	3. 民主政治と人権保障の発展 A. トマス・ホッブズの政治哲学 B. ジョン・ロックの政治哲学 C. ジャン・ジャック・ルソーの政治哲学 4. 国民主権と民主主義の発展 1) 法の支配、 2) 基本的人権の保障 3) 権力分立 4) 多数決の意味 5. ファシズム・ナチズム 6. 世界の政治体制	<ul style="list-style-type: none"> ・17、18世紀の欧米の政治史を学習する。 ・市民革命に影響を与えた政治哲学者の著作を一部分であるが、翻訳・原文で読む。 ・古代ギリシア、ローマの共和国の歴史を踏まえ、現代の民主主義について学習・批判的に考察していく。 ・ナチズム時代を描いたビデオ作品『アンネ・フランクの世界』を観ながら、当時の欧州の政治社会について考察する。 	知	・上記科目の目標の達成が達成できているか。	15
				思	・上記科目の目標の達成が達成できているか。	
2 学期	8	Ⅲ. 日本国憲法の基本的性格 1. 日本国憲法の成立 2. 平和主義 ・非武装平和主義を追求する憲法と自衛隊・日米安保体制	<ul style="list-style-type: none"> ・明治維新と大日本憲法体制と1945年8月15日以降の日本国憲法制定の過程を学習する。 ・日本国憲法制定時の首相、 	知	・上記科目の目標の達成が達成できているか。	15
	9			思	・上記科目の目標の達成が達成できているか。	

	1 0	3. 基本的人権の保障 4. 日本国憲法の構造 5. 日本国の人権規定の内容 6. 日本国憲法の統治機構 7. 戦後の政治・経済史	1952年のサンフランシスコ講和条約、日米安保条約にサインをした、吉田『その時歴史が動いた：吉田茂』鑑賞	主	・上記科目の目標の達成が達成できているか。	
	1 1	共通テスト対策演習	実際の共通テスト試験問題等を用い、形式に慣れるとともに、これまでの学習の復習を行い、応用力を身に付ける。	知	・上記科目の目標の達成が達成できているか。	15
	1 2			思	・上記科目の目標の達成が達成できているか。	
	主			・上記科目の目標の達成が達成できているか。		
3 学 期	1 2 3	共通テスト対策演習、 必要に応じて論文指導	実際の共通テスト試験問題等を用い、形式に慣れるとともに、これまでの学習の復習を行い、応用力を身に付ける。	知 思 主		15

年間授業計画

科目(講座名)	現代社会	2単位	必修	学年	3年
教科書 副教材	教科書：最新 現代社会 改訂版(実教出版) 資料集：最新図説 現社 浜島書店	教科担当			

1 教科の目標

広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係について客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある市民として必要な能力と態度を育てる。

2 科目の目標

<p>【知識及び技能】 民主政治と日本国憲法、現代の国際関係の基本原則、基本的な見方や考え方を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現できるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 政治や経済などに関する基本的な理解を踏まえ、持続可能な社会の形成が求められる現代社会の諸課題探究する活動を通して、望ましい解決の在り方について考察を深めさせる。</p>

3 授業計画

期	月	学習内容	学習活動	評価基準	時数	
1 学期	4	序：社会科教育とは I. 民主政治の基本原則 1. 米国公民権運動 2. 政治と法	<ul style="list-style-type: none"> ・米国で誕生した社会科教育教育、社会化、批判的思考など教育学に関する概念・用語を学習する。 ・米国公民権運動に関するビデオ作品 EYES ON THE PREIZE を観る。 ・政治、権力、国家、政府、主権などの本質・内実を学習する。 	知 思 主	<ul style="list-style-type: none"> ・上記科目の目標の達成が達成できているか。 ・上記科目の目標の達成が達成できているか。 ・上記科目の目標の達成が達成できているか。 	1 0
	5					
	6	3. 民主政治と人権保障の発展 A. トマス・ホッブズの政治哲学 B. ジョン・ロックの政治哲学 C. ジャン・ジャック・ルソーの政治哲学	<ul style="list-style-type: none"> ・17、18世紀の欧米の政治史を学習する。 ・市民革命に影響を与えた政治哲学者の著作を一部分であるが、翻訳・原文で読む。 ・古代ギリシア、ローマの共和国の歴史を踏まえ、現代の民主主義について学習・批判的に考察していく。 ・ナチズム時代を描いたビデオ作品『アンネ・フランクの世界』を観ながら、当時の欧州の政治社会について考察する。 	知 思 主	<ul style="list-style-type: none"> ・上記科目の目標の達成が達成できているか。 ・上記科目の目標の達成が達成できているか。 ・上記科目の目標の達成が達成できているか。 	1 5
	7	4. 国民主権と民主主義の発展 1) 法の支配、 2) 基本的人権の保障 3) 権力分立 4) 多数決の意味 5. ファシズム・ナチズム 6. 世界の政治体制				
2 学期	8	III. 日本国憲法の基本的性格 1. 日本国憲法の成立 2. 平和主義	<ul style="list-style-type: none"> ・明治維新と大日本憲法体制と1945年8月15日以降の日本国憲法制定の過程を学習する。 ・日本国憲法制定時の首相、 	知 思	<ul style="list-style-type: none"> ・上記科目の目標の達成が達成できているか。 ・上記科目の目標の達成が達成できているか。 	15
	9	・非武装平和主義を追求する憲法と自衛隊・日米安保体制				

	10	3. 基本的人権の保障 4. 日本国憲法の構造 5. 日本国の人権規定の内容 6. 日本国憲法の統治機構 7. 戦後の政治・経済史	1952年のサンフランシスコ講和条約、日米安保条約にサインをした、吉田『その時歴史が動いた：吉田茂』鑑賞	主	・上記科目の目標の達成が達成できているか。	
	11	共通テスト対策演習	実際の共通テスト試験問題等を用い、形式に慣れるとともに、これまでの学習の復習を行い、応用力を身に付ける。	知	・上記科目の目標の達成が達成できているか。	15
	12			思	・上記科目の目標の達成が達成できているか。	
	主			・上記科目の目標の達成が達成できているか。		
3 学期	1 2 3	共通テスト対策演習、 必要に応じて論文指導	実際の共通テスト試験問題等を用い、形式に慣れるとともに、これまでの学習の復習を行い、応用力を身に付ける。	知 思 主		15

令和5年度 年間授業計画		東京都立駒場高等学校	
教科	地歴	学年 (単位数)	3年 (2 単位)
科目	日本史 B(2 単位)	形態	自由選択
教科担当者			
使用教科書 副教材等			
『詳説日本史改訂版』(山川出版社)、『新詳日本史』(浜島書店)、『新詳述日本史史料集』(実教出版)、自作プリント類			
目 標			
第二次大戦前後から現在までの日本の歴史の流れを、世界の政治情勢の変化や動きと関連をさせ概観しながら考察し理解していく。また時間的余裕があれば、大学入試問題の演習を行う。			
	予定 時数	指導内容	指導目標
1 学 期	12	満州事変から終戦、占領と改革	戦前の政治体制に変わり、民主主義、自由主義体制に基づく日本の政治体制、社会制度の形成の過程を概観しながら、世界の枠組みが資本主義国家、社会主義国家の両陣営に集結していくことを理解する。
	14	冷戦の開始と講和	資本主義国と社会主義国との対立の中、戦後日本の国家体制や政治制度の進路が国際情勢によって変化していく家庭を考察し理解させる。
2 学 期	14	55 年体制と経済復興から高度経済成長へ	民主主義国家の政治体制を築くなか、世界情勢に影響されながら、自由主義的政党と社会民主主義的政党とがどのように現在の日本を作ったかを理解し、また著しい経済的発展の過程を考察していく。
	14	経済大国の道、冷戦終結と日本社会の動揺	世界有数の経済国へ、さらに安定成長期に入る過程を考察するとともに、戦後世界の自由主義・社会主義の枠組みの崩壊、そして新たな世界構造への変化を合わせて理解する。
3 学 期	6	大学入試問題演習	実際の入試問題を使い、基礎から応用力へと繋がる力を身につける。
評価の 観点・方法		定期考査での到達度を中心とし、普段の授業での意欲・活動、出欠状況なども含めて総合的に評価していく。	

令和5年度 年間授業計画		東京都立駒場高等学校	
教科名	地理・歴史	学年学科 (単位数)	3年(2)
科目名	世界史 B(2単位)	授業形態	自由選択科目
教科担当者			
使用教科書 副教材等	山川出版社『詳説世界史B』 浜島書店『アカデミア世界史』		
目 標	古代オリエント&地中海世界、中世ヨーロッパ世界、近代ヨーロッパの成立、ヨーロッパ主権国家の展開等、ヨーロッパ史の流れを、各々の時代における世界の政治情勢の変化や動きと関連させ、考察と理解を深める。また、中国・インド・東南アジアを含むアジア・アメリカの古代史にも触れる。		
	予定 時数	項目・学習単元	学習内容・指導目標・留意事項
1 学 期	12	○紀元前の世界1	・ユーラシア大陸の古代文明の形成過程を把握させる。 ・エジプト、メソポタミア、小アジア、地中海東岸部、インド、中国各々における文明の発展状況を把握させる。
	14	○紀元前の世界2	・紀元前4世紀から紀元前1世紀までの、ユーラシア大陸全体の歴史を経年的に把握させる。
2 学 期	14	○1世紀～8世紀くらいの世界	・地中海世界と東アジア世界が交易路を通じて相互に影響を与え合うさまを経年的に理解する。
	14	○9世紀～15世紀くらいの世界	・9世紀の寒冷化が、ユーラシアの東西で北方民の南下をもたらしたところから、モンゴルの世紀を経て、大航海時代に至るまで、グローバルに経年変化をとらえる。
3 学 期	6	○大学入試問題演習	・実際の入試問題を使用し、基礎から応用力に繋がる力を身につける。
評価の 観点・方法	4回の定期考査の成績を中心に到達度を評価する。 授業に取り組む態度、出席状況等も含め総合的に判断する。		

年間授業計画

科目(講座名)	地理 B	3 単位	必履修	学年	3 年
教科書	「新編地理 B 改訂版」 二宮書店	教科担当			
副教材	「標準高等地図」「COMPLETE」 帝国書院				

1 教科の目標

社会に関わる様々な諸事象に関して，地域や地球的課題への取組などを理解し、基礎的・基本的な地理的能力を身に付ける。2 学期途中からは共通テストに対応するための問題演習を行い、入試に対応できる応用力をつける。

2 科目の目標

【知識及び技能】

社会に関わる様々な諸事象に関して，地域や地球的課題への取組などを理解する

【思考力、判断力、表現力等】

社会に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，多面的・多角的に考察したり，地球的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う

【学びに向かう力、人間性等】

社会に関わる諸事象について，よりよい社会の実現しようとする態度を養うとともに，世界の諸地域の多様な社会生活を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める

3 授業計画

期	月	学習内容	学習活動	評価基準	時数		
1 学期	4	農林水産業	各農業地域の特色や成立条件など基本的な事項を学習するとともに「都市の農業と市場」や「グローバル化」といった側面から学習を通して、食糧問題や日本の農業を考察する	知	地域別土地生産性と労働生産性の関係の推移を読み解き、各地域の農業の特色を整理できたか	7	
				思	食糧問題や環境問題と地域紛争、難民の発生するしくみを捉え、説明できたか		
				主	共通テストの問題やその他大学入試問題の考察に取り組むことができたか		
	6	鉱工業	資源、エネルギーに関わる傾向性を理解するとともに環境に与える負荷等を考察する。工業生産のグローバル化に伴う諸問題について理解する	知	資源、エネルギーに関わる傾向性を理解するとともに環境に与える負荷等を考察する。工業生産のグローバル化に伴う諸問題について理解できたか	8	
				思	工業立地の変化や工業生産のグローバル化に伴う様々な問題を考察できたか		
				主	共通テストの問題やその他大学入試問題の考察に取り組むことができたか		
	7	交通・通信と貿易・観光	交通・通信・貿易・観光に関わる傾向性を理解するとともに環境に与える負荷等を考察する。	知	交通・通信・貿易・観光に関わる傾向性を理解するとともに環境に与える負荷等を考察できたか	8	
				思	貿易・観光の構造や、多様性が考察できたか		
				主	共通テストの問題やその他大学入試問題の考察に取り組むことができたか		
			人口問題・都市・村落問題	世界の地形をプレートテクトニクスと関連づけ、世界の地形配置と比較しながら考察	知	人口問題、都市・村落問題に関わる傾向性を理解するとともにそれらが自然環境に与える負荷等を考察できたか	4
					思	「少子高齢化」「世界の居住問題」など、人間生活との関連性と問題点を考察できたか	
					主	共通テストの問題やその他大学入試問	

					題の考察に取り組むことができたかの読み取りに意欲的に取り組んだか	
2 学 期	8	世界各国の地誌	世界の地域区分について現代世界が自然、文化、国家群、経済などの指標によって区分され、それぞれの地域の特徴と問題点を理解する。	知	世界の地域の特徴と問題点を理解できたか	15
				思	世界の地域的特色が人間生活に影響していることを資料をもとに考察できたか	
	9			主	共通テストの問題やその他大学入試問題の考察に取り組むことができたか	
	10	共通テスト演習	共通テストの過去問題や、その他の入試問題を学習しながら共通テスト対策をする	知	地図、資料や写真などから共通テストの傾向を整理できたか	15
	11			思	グローバルな観点やから様々な地図や主題図などの資料から世界を捉え、共通テストの内容を考察できたか	
	12			主	共通テストの問題やその他大学入試問題の考察に取り組むことができたか	

年間授業計画

科目(講座名)	自由選択 政治・経済	2単位	選択	学年	3年
教科書 副教材	教科書：高校政治・経済 新訂版(実教出版) 資料集：最新図説 政経 浜島書店	教科担当			

1 教科の目標

広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係について客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある市民として必要な能力と態度を育てる。

2 科目の目標

<p>【知識及び技能】 経済社会の変容、現代経済のしくみ、現代経済と福祉の向上について理解していく。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現できるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 政治や経済などに関する基本的な理解を踏まえ、持続可能な社会の形成が求められる現代社会の諸課題探究する活動を通して、望ましい解決の在り方について考察を深めさせる。</p>
--

3 授業計画

期	月	学習内容	学習活動	評価基準	時数	
1 学 期	4	序 受験について 第I章 経済社会の変容 1. 経済活動の意義 (1) 経済学(思想)史1 (2) 経済学(思想)史2	<ul style="list-style-type: none"> 年間の学習内容の提示 「倫・政」「政経」「現代社会」の共通テストの主題範囲と傾向について学ぶ。 経済とは何か、トレード・オフ、機会費用などの経済学の入門的事項を学習する。 アダム・スミス、リカード、マルクスについての読み物を参照しながら、彼らの主張・学説を学習する。 ケインズ、ハイエク、フリードマン、ミュルダールの学説を学習する。 	知	・上記科目の目標の達成が達成できているか。	1 0
	5			思	・上記科目の目標の達成が達成できているか。	
2 学 期	6			主	・上記科目の目標の達成が達成できているか。	1 5
	7	第II章 現代経済のしくみ 1. 市場機構 2. 現代の企業 3. 国民所得と経済成長 4. 金融のしくみ 5. 財政のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> 「何をどれだけ」、「どのような方法で」、「誰のために」生産すべきか、生産された財・サービスをどのように社会の構成員に分配し、いかに消費するかという経済的選択の問題の視点から、学習する。 金融に関する環境の変化の視点から金融の仕組みと働きを学習していく。 	知	・上記科目の目標の達成が達成できているか。	
				思	・上記科目の目標の達成が達成できているか。	
8	第III章 現代経済と福祉の向上 1. 戦後復興と経済成長(戦後経済史)	<ul style="list-style-type: none"> 戦後の経済民主化 高度経済成長 第1次石油危機と高度経済 バブル経済と平成不況 構造改革のしくみ 日本の中小企業と農業 	主	・上記科目の目標の達成が達成できているか。	15	
9	2. 経済の停滞と再生		思	・上記科目の目標の達成が達成できているか。		
10			主	・上記科目の目標の達成が達成できているか。		

	1 1 1 2	共通テスト対策演習	実際の共通テスト試験問題等を用い、形式に慣れるとともに、これまでの学習の復習を行い、応用力を身に付ける。	知 思 主	・上記科目の目標の達成が達成できているか。 ・上記科目の目標の達成が達成できているか。 ・上記科目の目標の達成が達成できているか。	15
3 学 期	1 2 3	共通テスト対策演習、 必要に応じて論文指導	実際の共通テスト試験問題等を用い、形式に慣れるとともに、これまでの学習の復習を行い、応用力を身に付ける。	知 思 主		15

年間授業計画

科目(講座名)	自由選択 倫理	2単位	選択	学年	3年
教科書 副教材	教科書：高校倫理 新訂版(実教出版) 資料集：テォーリア 最新倫理資料集	教科担当			

1 教科の目標

日本思想、西洋思想についての学習を通し、基礎的・基本的な能力を身に付ける。また2学期途中からは共通テストに対応するための問題演習を行い、入試に対応できる応用力をつける。

2 科目の目標

【知識及び技能】

古来の日本人の心情と考え方や東西の先哲の思想内容を理解している。

【思考力、判断力、表現力等】

理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。

【学びに向かう力、人間性等】

在り方生き方について、自己とのかかわりにおいて主体的に探究している。

3 授業計画

期	月	学習内容	学習活動	評価基準	時数	
1 学期	4	第1編 青年期の課題 と人間の自覚 第3章 「日本人としての自覚」	日本思想を通して日本人の精神文化、日本仏教の受容とその歴史、近世以降の儒学、朱子学を取り入れた民衆や幕末期における思想、西洋思想の受容と変遷について理解させる。	知	古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目して、日本の風土や伝統、外来思想の受容を理解している。	10
	思			理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。		
	主			国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について、自己とのかかわりにおいて主体的に探究している。		
	6	第2編 現代と倫理 第1章 現代に生きる人間の倫理	西洋思想を通して自然や科学技術と人間のかかわりを理解し民主社会の形成、自由の実現、社会参加と幸福について学習する。	知	西洋の考え方や先哲の思想に着目して、民主社会の形成や自由の実現などについて理解している。	15
	思			理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。		
	主			先哲の思想や在り方生き方について、自己とのかかわりにおいて主体的に探究している。		
2 学期		第2章 現代の諸課題と倫理 ・生命倫理 ・環境倫理 ・情報化社会 ・人類の福祉	クローン技術や再生医療、情報化社会におけるデジタルデバイドの問題、国際平和に向けた取り組みなどを把握し、現代における倫理的課題について理解させる。	知	西洋の考え方や先哲の思想に着目して、民主社会の形成や自由の実現などについて理解している。	15
				思	理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	
				主	先哲の思想や在り方生き方について、自己とのかかわりにおいて主体的に探究している。	
		共通テスト 対策演習	実際の共通テスト試験問題等を用い、形式に慣れるとともに、これまでの学習の復習を行い、応用力を身に付ける。	知	西洋の考え方や先哲の思想に着目して、民主社会の形成や自由の実現などについて理解している。	15
				思	理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	

				主	先哲の思想や在り方生き方について、自己とのかかわりにおいて主体的に探究している。	
3 学 期		共通テスト 対策演習	実際の共通テスト試験問題等を用い、形式に慣れるとともに、これまでの学習の復習を行い、応用力を身に付ける。	知	西洋の考え方や先哲の思想に着目して、民主社会の形成や自由の実現などについて理解している。	15
				思	理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	
				主	先哲の思想や在り方生き方について、自己とのかかわりにおいて主体的に探究している。	

令和5年度 年間授業計画

東京都立駒場高等学校

教科	数学	学年 (単位数)	3 学年 普通科 理系 (6)
科目	数学Ⅲ	形態	学校必履修選択科目
教科担当者			
使用教科書 副教材等	数学Ⅲ (数研出版) サクシード数学Ⅲ (数研出版) チャート式基礎からの数学Ⅲ (数研出版)		
目 標	複素数平面、式と曲線、極限、微分法及び積分法について理解し、知識の習得と技能の習熟を図る。また、事象を数学的に考察し、処理する能力を伸ばす態度を育てる。		
	予定 時数	指導内容	指導目標
一 学 期	3 6	複素数平面 関数 極限	複素数を図形的に表現することを利用して、図形の考察ができるようにする。分数関数・無理関数及び関数概念について理解を深める。極限の概念を理解し、数列や関数の極限の考察ができるようにする。
	4 2	式と曲線 微分法 微分法の応用	曲線がいろいろな式で表現できることを理解する。 いろいろな関数における微分法を理解する。微分法を用いて、関数の値の増減やグラフの凹凸などの考察に活用できるようにする。
二 学 期	4 2	積分法 積分法の応用	いろいろな関数における積分法を理解する。積分法の有用性を認識するとともに、面積や体積を求め、幅広く活用できるようにする。
	4 2	極限、微分法、積分法の計算演習 入試問題研究	関数、極限、微分法、積分法について、様々な計算が自在にできるようにする。入試の標準的なレベルの問題が解けることを目標とする。
三 学 期	4 8	入試問題研究	様々なレベルや種類の入試問題に対応できるようにする。
評価の 観点・方法	基本的な知識の習得、技能の習熟及び数学的に考察・処理できるようになったかを評価する。年間四回の定期考査の得点及び課題提出、授業態度を評価する。		

令和5年度 年間授業計画		東京都立駒場高等学校	
教科名	数学	学年 (単位数)	3学年 普通科(2)
科目名	数学演習X	形態	文系 学校必履修選択科目
教科担当者			
使用教科書 副教材等	「ベストセレクション 大学入学共通テスト数学 最重要問題集」(実教出版)		
目 標	主として数学Ⅱ・Bを復習し、発展的事項を理解する。大学入学共通テスト数学Ⅱ・Bに対応できる実力や計算力を身につける。数学Ⅱ・B範囲を学習後に数学Ⅰ・Aの範囲の含めた総合演習を行う。		
	予定 時数	指導内容	指導目標
1 学 期	7	式と証明・高次方程式 図形と方程式 数列	既習事項を整理し、基本的技術の習得を徹底させる。
	11	三角関数 指数関数・対数関数 ベクトル	既習事項を整理し、基本的技術の習得を徹底させる。
2 学 期	17	微分法と積分法 数学Ⅱ総合演習 数学B総合演習	既習事項を整理し、基本的技術の習得を徹底させる。 数学全般に通じる考え方・発想法や着眼点についても視野を広げる。
	9	入試問題研究	総合的な問題に取り組むことにより、応用的な技術を磨き、複雑な問題でも攻略できるようにする。大学入学共通テストの演習を行う。
3 学 期	17	入試問題研究	いろいろな入試問題に対応できるようにする。
評価の 観点・方法	基本的な知識の習得、技能の習熟及び数学的に考察・処理できるようになったかを評価しつつ、年間4回の定期考査の得点及び課題提出、授業態度を評価する。		

令和5年度 年間授業計画		東京都立駒場高等学校	
教科	数学	学年 (単位数)	3学年 普通科 (4)
科目	数学演習Y	形態	理系 学校必履修選択科目
教科担当者			
使用教科書 副教材等	四訂版 クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B 受験編 (数研出版)		
目 標	一・二学年で既習の数学の学習内容を元に、数学Ⅱ・数学Bの内容を中心に、基本から標準的レベルの大学入試問題を解答させることによって総合力の養成を図る。		
	予定 時数	指導内容	指導目標
一 学 期	19	最大・最小 点と直線, 曲線と直線 軌跡と領域 図形と式の種々の問題	一・二年生で学習した知識や技法をもとに、大学入試に頻出する基本的問題を解けるようにする。
	20	三角関数 ベクトルの基本・内積 ベクトルと平面図形・空間図形 入試問題研究	一・二年生で学習した知識や技法をもとに、大学入試に頻出する基本的問題を解けるようにする。
二 学 期	28	等差数列・等比数列 種々の数列, 漸化式と数列 数学的帰納法, 数列の応用 約数と倍数, 不定方程式	大学入試の標準的問題が解けるようにする。 答案を適切に記述できるようにする。
	28	整数の性質の種々の問題 確率 指数・対数の計算 指数・対数の種々の問題 定積分で表された関数 面積 入試問題研究	大学入試の標準的問題が解けるようにする。 答案を適切に記述できるようにする。 問題の着眼点を知り, 攻略法について技術を磨く。
三 学 期	32	入試問題研究	様々なレベルや種類の入試問題に対応できるようにする。
評価の 観点・方法	基本的な知識の習得、技能の習熟及び数学的に考察・処理できるようになったかを評価する。年間四回の定期考査の得点及び課題提出、授業態度を評価する。		

令和5年度 年間授業計画		東京都立駒場高等学校	
教科	数学	学年 (単位数)	3年 普通科 (2)
科目	数学Ⅱ	形態	自由選択科目
教科担当者			
使用教科書 副教材等	四訂版 クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B 受験編 (数研出版)		
目 標	1・2学年で既習の数学の学習内容を元に、数学Ⅱ・数学Bの内容を中心とした基本から標準的レベルの大学入試問題を解答していくことにより、入試問題を解く総合力の養成を図る。		
	予定 時数	指導内容	指導目標
1 学 期	7	点と直線 曲線と直線 軌跡と領域 図形と式の種々の問題	1, 2年生で学習した知識や技法をもとに、大学入試に頻出する基本的問題を解けるようにする。
	11	三角関数 指数・対数の計算 指数・対数の種々の問題 ベクトルの基本・内積	1, 2年生で学習した知識や技法をもとに、大学入試に頻出する基本的問題を解けるようにする。
2 学 期	11	平面図形とベクトル 入試問題研究 空間図形とベクトル 数列	大学入試の標準的問題が解けるようにする。 答案を適切に記述できるようにする。
	13	漸化式と数列 数学的帰納法 微分法・積分法 入試問題研究	大学入試の標準的問題が解けるようにする。 答案を適切に記述できるようにする。 問題の着眼点を知り、攻略法について技術を磨く。
3 学 期	2	入試問題研究	いろいろな入試問題に対応できるようにする。
評価の 観点・方法	基本的な知識の習得、技能の習熟及び数学的に考察・処理できるようになったかを評価する。年間4回の定期考査の得点及び課題提出、授業態度を評価する。		

令和5年度 年間授業計画		東京都立駒場高等学校	
教科名	数学	学年 (単位数)	3年 (2)
科目名	数学A	形態	自由選択
教科担当者			
使用教科書 副教材等	「ベストセレクション センター試験数学 最重要問題集」(実教出版)		
目 標	数学I・Aを復習し、発展的事項を理解する。センター試験数学I・Aに対応できる実力や計算力を身につける。2学期後半に演習を通じて仕上げを行う。		
	予定 時数	指導内容	指導目標
1 学 期	8	<ul style="list-style-type: none"> ・数と式、実数 ・1次不等式、集合と命題 ・2次関数、2次不等式 	因数分解、分母の有理化 1次不等式の解法、必要条件・十分条件 条件の否定、逆・裏・対偶・背理法 最大・最小、2次不等式の解法
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・三角比 ・データの分析 ・場合の数、確率 	正弦定理、余弦定理、三角形の面積 四分位数。箱ひげ図、分散、データの相関 順列、組み合わせ、反復試行の確率、 条件付き確率
2 学 期	8	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の性質 ・整数の性質 	三角形の角の二等分線、重心、内心、外心、 垂心、チェバの定理、メネラウスの定理 円に内接する四角形、接弦定理、方べきの定 理、最大公約数と最小公倍数、ユークリッド の互除法、1次不定方程式、n進法
	10	入試実践問題の解法指導	数学IAの範囲の入試問題の総合演習
3 学 期	2	入試実践問題の解法指導	数学IAの範囲の入試問題の総合演習
評価の 観点・方法	1・2学期中間考査、期末考査、計4回の考査の得点、および小テスト、提出物等を考慮して評価する。		

令和5年度 年間授業計画		東京都立駒場高等学校	
教科	数学	学年 (単位数)	3年 保健体育科 (2)
科目	数学B	形態	自由選択
教科担当者			
使用教科書 副教材等	「数学B」(数研出版) 「クリアー数学II+B」(数研出版)		
目 標	数列、ベクトルについてその基礎を理解する。 さらに応用問題にも対応できるようにレベルアップを図る。		
	予定 時数	指導内容	指導目標
一 学 期	8	平面上のベクトル (位置ベクトル まで)	平面上のベクトル, ベクトルの演算, ベクトルの成分, ベクトルの内積, 位置ベクトル
	8	平面上のベクトル (ベクトルと図形 から) 空間のベクトル (空間の位置ベクトル まで)	ベクトルと図形, ベクトル方程式 空間の基本的図形, 空間の座標, 空間ベクトルの成分, ベクトルの内積, 位置ベクトル
二 学 期	12	空間のベクトル (球の方程式 まで) 数列 (等差数列 から)	空間ベクトルと図形, 座標空間における図形 数列, 等差数列とその和, 等比数列とその和
	12	数列 (数学的帰納法)	種々の数列, 漸化式と数列, 数学的帰納法
三 学 期	16	入試問題研究	数学Bの範囲の入試問題の総合演習
評価の 観点・方法	基礎的な知識の習得、技能の習熟、数学的な見方や考え方ができるようになったかで評価する。 一、二学期中間考査、期末考査、計四回の考査の得点、および提出物等を考慮して評価する。		

令和5年度 年間授業計画			東京都立駒場高等学校
教科名	理科	学年学科 (単位数)	3学年 普通科 (2)
科目名	化学基礎	授業形態	自由選択科目
教科担当者			
使用教科書 副教材等	化学基礎(東京書籍)・ニューステージ新化学図表(浜島書店) チェック&演習化学基礎(数研出版)、 ケミ探プラス化学基礎(啓林館)		
目 標	科学的な自然観と生きる力の育成、共通テスト試験程度の知識の確実な獲得。		
	予定 時数	項目・学習単元	学習内容・指導目標・留意事項
1 学 期	12	物質の構成	物質とその成分、純物質と混合物、 物質の三態、原子の構造、元素の周期律と元素の性質、
	14	物質の構成 物質の変化	イオン、イオン結合、共有結合、配位結合、分子間の結合 金属結合、化学結合と物質の分類用途 分子、分子や原子からできている物質 原子量、分子量、式量、 物質量 化学反応式
2 学 期	14	物質の変化	化学反応式と物質量 溶液の濃度、化学反応式と量的関係 酸と塩基 水素イオン濃度とpH 中和反応、塩
	14	物質の変化電池、電気分解	中和滴定、 酸化と還元 酸化剤と還元剤 金属の酸化還元反応 電池、電気分解
3 学 期	(8)	総合演習	
評価の 観点・方法	意欲・関心、思考・判断においては授業中の取り組み、提出物などで評価する。また、知識・理解では、小テストで基礎・基本の確認を行い、定期考査において、基礎から応用までの問題への解答の様子(素点)で判断する。		

令和5年度 年間授業計画

東京都立駒場高等学校

教科名	理科	学年学科 (単位数)	3学年 普通科 (4)
科目名	化学	形態	学校必履修選択科目・自由選択科目
教科担当者			
使用教科書 副教材等	化学(東京書籍)・ニューステージ新化学図表(浜島書店)・2022 化学重要問題集(数研) 共通テスト試験対策チェック&演習化学(数研)		
目 標	実験などを通して、基礎的な知識の獲得と科学的な自然観と生きる力の育成 さらに、自己の目標達成に向けて、受験力の育成		
	予定 時数	項目・学習単元	学習内容・指導目標・留意事項
1 学 期	12	無機物質と人間生活 有機化合物の特徴と構造 炭化水素	金属・合金・セラミックス・ガラス 有機化合物の特徴・構造式の決定 飽和炭化水素・不飽和炭化水素
	14	酸素を含む有機化合物 芳香族化合物	アルコール・エーテル・アルデヒド・ケトン カルボン酸・エステル・油脂とセッケン 芳香族炭化水素・酸素を含む芳香族炭化 水素・窒素を含む芳香族炭化水素・芳香 族化合物の分離
2 学 期	14	有機化合物と人間生活 天然高分子化合物 合成高分子化合物	食品・医薬品・染料・洗剤 単糖類・二糖類・多糖類。アミノ酸・タンパ ク質・核酸 合繊繊維・プラスチック・ゴム
	14	高分子化合物と人間生活 問題演習	プラスチック利用の拡大と環境問題 大学入試問題研究
3 学 期	16	問題演習	大学入試問題研究
評価の 観点・方法	意欲・関心においては実験への取り組みや授業での小テストなどを点数化する。また、 知識・理解では、定期考査において、基礎から応用までの問題への解答の様子(素点) で判断する。思考・判断においては、実験のレポートの内容が充分であるかで評価す る。また、レポートによる評価には表現なども含まれる。		

令和5年度 年間授業計画

東京都立駒場高等学校

教科名	理科	学年学科 (単位数)	3年普通科(4)
科目名	物理	授業形態	必修選択、自由選択
教科担当者			
使用教科書 副教材等	第一学習社 高等学校物理 第一学習社 セミナー 物理基礎+物理 数研出版 2023 物理重要問題集 物理基礎・物理 数研出版 チェック&演習 物理 (共通テスト用)		
目 標	物理的な事物・現象に対する探求心を高め、目的意識をもって実験や観察を行い、物理学的に探求する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を理解させ、科学的な物の見方や考え方を養う。		
	予定 時数	項目・学習単元	学習内容・指導目標・留意事項
1 学 期	24	波動 波の性質 音波 光波	波の式、波の干渉、回折、屈折 音の伝わり方、ドップラー効果、 光の性質、レンズ、木川の干渉と回折
	28	運動とエネルギー 円運動と単振動	円運動 慣性力と遠心力 単振動 万有引力
2 学 期	28	電気と磁気 電気と磁気 電磁誘導と交流 原子	磁場 電流が磁場から受ける力、ローレンツ力 電磁誘導、交流、
	28	原子 電子と光 原子と原子核 問題演習	電子、光の粒子性、X線、粒子の波動性 原子の構造、原子核の放射線、核反応のエネルギー 素粒子と宇宙 共通テスト用問題演習
3 学 期	32	問題演習	過去問等の問題演習
評価の 観点・方法	定期考査および小テストの結果や、実験を行った際のレポート・課題の提出状況、授業に取り組む姿勢や意欲等を総合的に判断し、評価する。		

令和5年度 年間授業計画

東京都立駒場高等学校

教科名	理科	学年学科 (単位数)	3年 普通科 (4)
科目名	生物	授業形態	必修・自由選択
教科担当者			
使用教科書 副教材等	数研出版 生物 実教出版 増補新訂版サイエンスビュー生物総合資料 東京書籍 ニューグローバル生物 数研出版 改訂版チェック&演習生物		
目 標	生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則、最新の知見について系統的に理解することで、分析的・総合的に考察する能力、科学的な思考力や判断力・表現力を育成する。		
	予定 時数	項目・学習単元	学習内容・指導目標・留意事項
1 学 期	24	1. 植物の環境応答 ① 植物の生活と環境応答 ② 発芽の調節 ③ 成長の調節 ④ 環境の変化に対する応答 ⑤ 花芽形成・切実の調節 演習	植物を取り巻く外界からさまざまな刺激を受け取り、それに応じて自らの成長を調節することで生命活動を営んでいる。植物が環境からどのように刺激を受け取り、それに対してどのような反応が現れるのかを学習する。植物の成長過程ではたらく物質についても学習する。
	28	2. 生物群集と生態系 ① 個体群 ② 個体群内の個体間の関係 ③ 異種個体群間の関係 ④ 生物群集 ⑤ 生態系における物質生産 ⑥ 生態系と生物多様性 演習	地球上にはさまざまな環境があり、その中で同種の生物どうし、異種の動物どうしが互いに関わり合っている。生態系の中で、多様な生物が共存しているようすやそのしくみを理解する。さらに、生物多様性とその保全について考える。
2 学 期	28	3. 生命の起源と進化 ① 生命の起源と初期の生物の変遷 ② 多細胞生物の変遷 ③ 進化のしくみ 演習 4. 生物の系統 ① 生物の系統 ② 生物の多様性 演習	現在、地球上に見られる多様な生物は、長い歴史の中で進化してきた結果である。地球に生命が誕生して以来、生物がどのような道筋をたどって現在の生物の世界ができてきたのか、また、進化のしくみについて理解する。 多様な生物にもさまざまな共通点や連続性が見られる。DNAの塩基配列などを比較することによって得られた生物の系統について理解する。
	28	過去問演習 実験・観察	過去の入試問題の演習・解説を行い、実践力を身に付ける。 実験、観察を通して理解を深める。
3 学 期	32	受験指導	質疑応答、論述問題添削を行う。
評価の 観点・方法	授業に取り組む姿勢や意欲、課題・レポートの提出状況、定期考査の結果を総合的に判断し、評価する。		

令和5年度 年間授業計画			東京都立駒場高等学校
教科	保健体育	学年 (単位数)	3学年 普通科 (3)
科目	体育	形態	必修科目・少人数
教科担当者			
使用教科書 副教材等	体育・スポーツ理論(大修館書店) 各種種目ごとの教材		
目 標	1・2年次で学んだ各種目の中から、生涯スポーツに通じる種目を1種目選択して、前期・後期の半期ずつ種目を選択してそれぞれの技術の習得をはかり、自主的に活動することのできる態度を育てる。		
	予定 時数	指導内容	指導目標
1 学 期	18	体づくり運動 長距離走 <u>前期種目選択</u> バスケット(男女)、バレーボール(男女)、サッカー(男子)、サッカー・ソフトボール(女子)、バドミントン(男女)、卓球(男女)、テニス(男女)	各自で、生涯スポーツに通じる種目を選択する。それぞれの種目ごとに、基礎技術の見直しを行い、それぞれのスキルの向上をはかる。種目ごとに基本からルールの確認、ゲームの方法の確認およびゲーム管理に至るまでを実施する。
	13	バスケット(男女)、バレーボール(男女)、サッカー(男子)、サッカー・ソフトボール(女子)、バドミントン(男女)、卓球(男女)、テニス(男女) 体育理論	
2 学 期	17	<u>後期種目選択</u> バスケット(男女)、バレーボール(男女)、サッカー(男子)、サッカー・ソフトボール(女子)、バドミントン(男女)、卓球(男女)、テニス(男女)	各自で、生涯スポーツに通じる種目を選択する。それぞれの種目ごとに、基礎技術の見直しを行い、それぞれのスキルの向上をはかる。種目ごとに基本からルールの確認、ゲームの方法の確認およびゲーム管理に至るまでを実施する。
	17	バスケット(男女)、バレーボール(男女)、サッカー(男子)、サッカー・ソフトボール(女子)、バドミントン(男女)、卓球(男女)、テニス(男女)	
3 学 期	6	バスケット(男女)、バレーボール(男女)、サッカー(男子)、サッカー・ソフトボール(女子)、バドミントン(男女)、卓球(男女)、テニス(男女) 体育理論	各自で、生涯スポーツに通じる種目を選択する。それぞれの種目ごとに、基礎技術の見直しを行い、それぞれのスキルの向上をはかる。種目ごとに基本からルールの確認、ゲームの方法の確認およびゲーム管理に至るまでを実施する。 自らのライフスタイルに応じたスポーツへの関わり方があることを理解する。
評価の 観点・方法	各種目の到達目標に準じ、それぞれで実技テスト、又は記録の測定を行う。また、毎回の授業に対する個人カード・グループノートも含めて評価を行う。 技術の向上のみでなく、授業への参加態度や協力態勢も加味し評価していく。		

令和5年度 年間授業計画

東京都立駒場高等学校

教科	保健体育		学年 (単位数)	3学年 保健体育科(4)
科目	専門実技 スポーツ I ~IV、VI		形態	学校必履修科目 専門科目
教科担当者				
使用教科書 副教材等	大修館(保体304) 現代高等保健体育			
目 標	各種運動、実践をとおして運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを体験するとともに、体力の向上を図り、将来、指導者の立場にたつてからも学んだことを活かし、公正・協力・責任などの態度を育てる。			
	予定 時数	指導内容	指導目標	
1 学 期	16	サッカー 体操競技 ダンス バスケットボール 剣道 水泳競技	各種目の技能を身に付けるとともに、課題を発見し、思考し判断し、他者に伝える力を養う。学習に主体的に取り組み、スポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開する。 ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開する。 武道に対する伝統的な考え方を理解し、それに基づく行動の仕方を身に付ける。	
	20	体操競技 バスケットボール 陸上競技 ダンス 柔道 体づくり運動	上記に準ずる。 運動の組み立て方を理解し、実生活へ生かせるようにする。	
2 学 期	18	ダンス 体操競技 体づくり運動	上記に準ずる。 実技発表会のために技術、体力を身に付けるとともに、安全に留意しながら協力する。	
	26	バレーボール テニス 水泳競技 陸上競技 柔道 剣道 サッカー ソフトボール	上記に準ずる。 ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開する。	
3 学 期	4	卓球 ホッケー バドミントン テニス	ボール操作と空間に走りこむなどの動きによってゴール前での攻防を展開する。	
評価の 観点・方法	運動への関心・意欲・態度、運動についての思考・判断、運動の技能、運動についての知識・理解について各種目評価規準を作成する。 それに基づき、試験などを実施する。			

令和5年度 年間授業計画		東京都立駒場高等学校	
教科	保健体育	学年 (単位数)	3学年 保健体育科 (1)
科目	スポーツ概論	形態	学校必履修科目 専門科目
教科担当者			
使用教科書 副教材等	基礎から学ぶスポーツ概論(大修館書店)		
目 標	スポーツの魅力や意義を考え、スポーツに関わる技能や体力を合理的に向上させるための最先端の科学技術知識や、具体的方法を学ぶ。		
	予定 時数	指導内容	指導目標
1 学 期	5	豊かなスポーツライフの設計 スポーツの多様な楽しみ方 スポーツ振興のための施策と諸条件 スポーツと環境	各ライフステージやライフスタイルに応じたスポーツ設計の仕方を理解できるようにする。
	6	豊かなスポーツライフの設計 スポーツの多様な楽しみ方 スポーツ振興のための施策と諸条件 スポーツと環境	各ライフステージやライフスタイルに応じたスポーツ設計の仕方を理解できるようにする。
2 学 期	7	スポーツの指導法と安全 参加者の安全の確保(キャンプ実習とも関連)	参加者の健康・安全の確保の仕方を理解できるようにする。
	7	スポーツの企画・運営及び管理 スポーツ大会の企画と評価	スポーツプログラムを適切に運営するための手順や施設の管理、運営の仕方を理解できるようにする。
3 学 期	7	スポーツの企画・運営及び管理 スポーツ大会の企画と評価	スポーツプログラムを適切に運営するための手順や施設の管理、運営の仕方を理解できるようにする。
評価の 観点・方法	意欲関心については授業への取り組みや発問への回答数などを点数化する。知識理解においてはレポートや小テスト、定期考査の内容と結果で判断する。思考判断においては研究レポートの内容や研究発表の様子をみて評価する。		

令和5年度 年間授業計画			東京都立駒場高等学校
教科	保健体育	学年 (単位数)	3学年 保健体育科 (2)
科目	スポーツ総合演習	形態	学校必修修科目・少人数 専門科目
教科担当者			
使用教科書 副教材等	基礎から学ぶスポーツ概論(大修館書店)		
目 標	1・2年次で学んだアスリートとしての必要な知識をもとに、専攻種目ごとにテーマを決め、資料を調べて、レポートを作り、それを卒業レポートとしてまとめる。		
	予定 時数	指導内容	指導目標
1 学 期	10	専攻種目ごとにテーマを決める テーマ別研究 それぞれのテーマに沿って資料を集める	専攻種目ごとにグループを作り、その担当 教諭と相談し、テーマを決める。 テーマが決まり次第、役割分担を決め、そ れぞれ資料を集める。
	10	テーマ別研究 それぞれのテーマに沿って資料を集める	図書館や本・インターネットを利用して、資 料を集める。 資料収集・・・収集方法の確認と記録の方法 を検討する。
2 学 期	12	テーマ別研究 資料の整理・まとめを行い、レポートを作成	調べた資料をもとに、レポート作成を行う 資料収集・・・収集方法の確認と記録の方法 を検討する。 レポート作成・・・下書きの方法の確認
	12	テーマ別研究 資料の整理・まとめを行い、レポートを作成	調べた資料をもとに、レポート作成を行 う。 レポート作成・・・レポート清書に向けて実施 校正・・・原稿内容の確認をおこなう。
3 学 期	6	テーマ別研究 資料の整理・まとめを行い、レポートを作成	レポート作成・・・レポート清書に向けて実 施。 校正・・・原稿内容の確認をおこなう。 レポートをまとめて完成させる。
評価の 観点・方法	専攻種目であるそれぞれの競技に関して、最も興味を持ち研究できる主題を決める。 グループで資料収集・アンケート調査・映像解析などを行い、レポートを作成させる。 専攻種目ごとに、研究材料・資料をまとめ、毎時小レポートを提出する。最終的に完成版レポ ートを評価する。		

令和5年度 年間授業計画

東京都立駒場高等学校

教科	保健体育	学年 (単位数)	3学年 保健体育科 (4)
科目	生涯スポーツ	形態	学校設定科目・必修選択科目
教科担当者			
使用教科書 副教材等	ゴルフ、テニス、バドミントン、バレーボール、ソフトボール、卓球、ユニホック、バスケットボールなど各種目用品		
目 標	1・2年次で学んだ種目とニュースポーツの理解・習得および、指導方法の研究・実践		
	予定 時数	指導内容	指導目標
1 学 期	35	①1・2年次で学んだ種目から2種目選び各グループで実践する。 ②各種ニュースポーツの体験をする。	①自分たちで種目の研究を行い共有できるようになる。 ②研究を基に授業の計画を立てられるようになる。 ③リーダーを中心に練習の実践ができるようになる。 ④客観的に活動を振り返り改善できるようになる。
2 学 期	39	①ニュースポーツの中から1種目を選び、研究し、計画を立てる。 ②選んだニュースポーツを他者に教える。	①自分たちで種目の研究を行い共有できるようになる。 ②研究を基に授業の計画を立てられるようになる。 ③リーダーを中心に練習の実践ができるようになる。 ④客観的に活動を振り返り改善できるようになる。 ⑤研究をして学んだこと。練習して習得したことを他者に教えることができるようになる。
3 学 期	11	生涯体育に関わる行政の活動や施設を見学する。	生涯にわたりスポーツができる環境がどの様にしてできているかを理解できるようになる。
評価の 観点・方法	各目標の取り組みの様子(研究がされていて共有できているか・授業計画が立てられているか・効率よく実践できているか・指導ができるか)の観点で評価を行う。		

令和5年度 年間授業計画

東京都立駒場高等学校

教科	保健体育	学年 (単位数)	3学年 保健体育科(2)
科目	専攻実技	形態	学校必履修科目 専門科目
教科担当者			
使用教科書 副教材等	大修館(保体304) 現代高等保健体育		
目 標	専門種目としてより高度な技術および専門知識を習得する。心身ともに健全な人間形成を図る。それぞれの種目において、指導者としての立場に立てる人材の育成を図り、社会へ出てから、十分に役立てられるよう学ぶ。		
	予定 時数	指導内容	指導目標
1 学 期	12	陸上競技 サッカー 体操競技 水泳競技 柔道 剣道 バレーボール バスケットボール	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開すること。 ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開すること。
	10	陸上競技 サッカー 体操競技 水泳競技 柔道 剣道 バレーボール バスケットボール	上記に準ずる。
2 学 期	8	ダンス 体操競技	上記に準ずる 実技発表会のために技術、体力を身につけるとともに、安全に留意しながら協力する。
	16	陸上競技 サッカー 体操競技 水泳競技 柔道 剣道 バレーボール バスケットボール	上記に準ずる
3 学 期	14	陸上競技 サッカー 体操競技 水泳競技 柔道 剣道 バレーボール バスケットボール	上記に準ずる。
評価の 観点・方法	運動への関心・意欲・態度、運動についての思考・判断、運動の技能、運動についての知識・理解について各種目評価規準を作成する。 それに基づき、試験などを実施する。		

令和5年度 年間授業計画		東京都立駒場高等学校	
教科名	芸術	対象学年 (単位数)	3学年 普通科(2)
科目名	音楽Ⅱ	形態	自由選択科目
教科担当者			
使用教科書 副教材等	MOUSA2(教育芸術社) MUSIC NOTE(啓隆社) 楽典～理論と実習～(音楽之友社)		
目 標	聴音、新曲視唱、楽典などを学び、受験や将来に役立てる。 ※原則として、音楽大学または音楽系学校受験の者、将来的に何らかの形で音楽の勉強が必要と思われる者を対象とする。		
	予定 時数	項目・学習単元	学習内容・指導目標・留意事項
1 学 期	12	聴音 新曲視唱 楽典 アンサンブル指導	・8小節程度の旋律聴音、和声聴音を行い、聴こえた音を書き取る力を身につける。 ・8小節程度の旋律を、数十秒の予見後に正確な音程・リズムで歌う力を身につける。 ・長音階と短音階、調性、近親調、を理解する。 ・互いの音を聴いて演奏する力やハーモニー感を養う。
	14	聴音 新曲視唱 楽典 アンサンブル指導	・8小節程度の旋律聴音、和声聴音を行い、聴こえた音を書き取る力を身につける。 ・8小節程度の旋律を、数十秒の予見後に正確な音程・リズムで歌う力を身につける。 ・長音階と短音階、調性、近親調、を理解する。 ・互いの音を聴いて演奏する力やハーモニー感を養う。
2 学 期	14	聴音 新曲視唱 楽典 実技指導	・8小節程度の旋律聴音、和声聴音を行い、聴こえた音を書き取る力を身につける。 ・8小節程度の旋律を、数十秒の予見後に正確な音程・リズムで歌う力を身につける。 ・受験に必要な内容を総合的に勉強し、苦手な点を重点的に勉強する。 ・受験曲を中心に勉強する。
	14	聴音 新曲視唱 楽典 実技指導	・8小節程度の旋律聴音、和声聴音を行い、聴こえた音を書き取る力を身につける。 ・8小節程度の旋律を、数十秒の予見後に正確な音程・リズムで歌う力を身につける。 ・受験に必要な内容を総合的に勉強し、苦手な点を重点的に勉強する。 ・受験曲を中心に勉強する。
3 学 期	16	聴音 新曲視唱 楽典 実技指導	・8小節程度の旋律聴音、和声聴音を行い、聴こえた音を書き取る力を身につける。 ・8小節程度の旋律を、数十秒の予見後に正確な音程・リズムで歌う力を身につける。 ・受験に必要な内容を総合的に勉強し、苦手な点を重点的に勉強する。 ・受験曲を中心に勉強する。
評価の 観点・方法	授業内で行われるテストだけでなく、普段の授業態度や提出物も評価の対象とする。		

令和 5 年度 年間授業計画

東京都立駒場高等学校

教科名	外国語(英語)	学年学科 (単位数)	3学年 普通科、保健体育科 (3)
科目名	コミュニケーション英語Ⅲ	授業形態	学校必履修科目 保健体育科は習熟度別授業
教科担当者			
使用教科書 副教材等	Mainstream English CommunicationⅢ - Strategic Reading Focus Advanced -(増進堂) NEO Advanced(いいずな書店) ターゲット1900(旺文社)		
目 標	高校英語の総仕上げとして、多様なテーマの英文に触れ、文の構成、内容について理解を深めるとともに、重要な文法項目を確認し、語彙力を伸ばす。速く正確に英文を読み取る力を養う。		
	予定 時数	項目・学習単元	学習内容・指導目標・留意事項
1 学 期	16	・Mainstream Ⅲ L1-3 ・NEO Advanced 1, 2, 3, 8 ・英単語ターゲット 1900	・1文1文の構造を意識し、基本的な読解方法を理解し、身につける。既習文法事項を確認する。 ・語彙を増やす。 ・英語4技能外部検定試験に対応したトレーニング
	16	・Mainstream Ⅲ L4-8 ・NEO Advanced 4, 5, 6, 7 ・英単語ターゲット 1900	・ディスコースマーカー、キーセンテンスに着目し、文章構成を意識して概略及び詳細内容を読み取る。 ・語彙を増やす。
2 学 期	21	・Mainstream Ⅲ L9-14 ・NEO Advanced 10-15 ・英単語ターゲット 1900	・やや複雑な内容の評論、説明的文章をスピードをつけて内容を把握しながら読み切る。 ・難しい文や未知の単語、表現の意味内容を的確に類推する。 ・語彙を増やす。特に派生語、同意表現を重視する。
	21	・Mainstream Ⅲ L15-18 ・NEO Advanced 16-20 ・英単語ターゲット 190	・複雑な内容の文章を読解し、設問に対して迅速に、適切に解答する力を養う。 ・語彙を増やす。特に派生語、同意表現を重視する。 ・要約や設問に応じて適切な英文を書く。w
3 学 期		実戦演習	・様々な題材の文章を読み取り、様々な形式の設問に制限時間内に解答する力を養う。 ・自分の英語力に応じて、設問の要求に最も近い適切な文章を書く。
評価の 観点・方法	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度、②外国語表現の能力、③外国語理解の能力、 ④言語や文化についての知識・理解の4つの観点から、定期考査を中心に、日々の授業、 提出課題、復習状況などを通して総合的に判断して評価する。		

令和 5 年度 年間授業計画

東京都立駒場高等学校

教科名	外国語(英語)	学年学科 (単位数)	3年 普通科 (3)
科目名	英語表現Ⅱ	授業形態	学校必履修
教科担当者			
使用教科書 副教材等	ファイナルステップ(いいずな書店) Steady Steps to Writing(数研出版) 共通テストドリル(Z会) Vintage(いいずな書店)		
目 標	今まで身に付けてきた文法の基礎力や表現力を、演習問題を解くことによって定着させ、どんな入試問題にも対応できる能力を身に付けさせる。		
	予定 時数	項目・学習単元	学習内容・指導目標・留意事項
1 学 期	16	・ファイナルステップ第1回～第5回 ・Steady Steps to Writing 13,14 ・共通テストドリル ・Vintage 応用テスト	文法・語法をランダムで演習する。 英作文演習 リスニング演習 速読演習 動名詞・分詞・関係詞・接続詞・前置詞を復習し、定着させる。 動詞の語法・時制・受動態・助動詞を復習し、定着させる。
	16	・ファイナルステップ第6回～第10回 ・Steady Steps to Writing 15, パラグラフ ライティング ・共通テストドリル ・Vintage 応用テスト	文法・語法をランダムで演習する。 英作文演習 リスニング演習 速読演習 比較・疑問文・否定・倒置・動詞の語法を復習し定着させる。 仮定法・準動詞・形容詞の語法を復習し、定着させる。
2 学 期	16	・大学入試問題演習 ・共通テスト演習	文法・語法を自主教材で演習する。 リスニング演習・速読演習 難関私大に対応する文法力を身につける。 共通テスト得点率85%以上の力を身につける
	16	・大学入試問題演習 ・共通テスト演習	文法・語法を自主教材で演習する。 リスニング演習・速読演習 難関私大に対応する文法力を身につける。 共通テスト得点率85%以上の力を身につける
3 学 期	4	共通テスト演習	共通テスト問題対策を徹底する。
評価の 観点・方法	バランスのとれた総合力がついているか。語彙力、構文・文法の理解と運用力を身に付け、内容やポイントを理解しているか。 日々の授業、提出物、定期考査等により、総合的に評価する。		

令和 5年度 年間授業計画

東京都立駒場高等学校

教科名	外国語(英語)	学年学科 (単位数)	3年 保健体育科 (2)
科目名	英語表現Ⅱ	授業形態	学校必履修 習熟度別により実施。
教科担当者			
使用教科書 副教材等	ファイナルステップ(いいずな書店) Steady Steps to Writing(数研出版) 共通テストドリル(Z会) Vintage(いいずな書店)		
目 標	今まで身に付けてきた文法の基礎力や表現力を、演習問題を解くことによって定着させ、どんな入試問題にも対応できる能力を身に付けさせる。		
	予定 時数	項目・学習単元	学習内容・指導目標・留意事項
1 学期	9	・ファイナルステップ第1回～第5回 ・Steady Steps to Writing 13,14 ・共通テストドリル	文法・語法をランダムで演習する。 英作文演習 リスニング演習 速読演習 動名詞・分詞・関係詞・接続詞・前置詞を復習し、定着させる。 動詞の語法・時制・受動態・助動詞を復習し、定着させる。
	9	・ファイナルステップ第6回～第10回 ・Steady Steps to Writing 15, パラグラフ ライティング ・Vintage 応用テスト	文法・語法をランダムで演習する。 英作文演習 リスニング演習 速読演習 比較・疑問文・否定・倒置・動詞の語法を復習し定着させる。 仮定法・準動詞・形容詞の語法を復習し、定着させる。
2 学期	10	ファイナルステップ第 11 回～第 14 回 共通テスト演習	文法・語法をランダムで演習する。 英作文演習 リスニング演習 速読演習 動詞・名詞・代名詞・形容詞の語法を復習し、定着させる。 副詞の語法・比較・関係詞・接続詞を復習し、定着させる。
	10	・大学入試問題演習 ・共通テスト演習	文法・語法をランダムで演習する。 英作文演習 リスニング演習 速読演習 イディオムを復習し、定着させる。 前置詞・一致・語順・否定・強調・省略を復習し、定着させる。
3 学期	2	共通テスト演習	共通テスト問題対策を徹底する。
評価の 観点・方法	バランスのとれた総合力がついているか。語彙力、構文・文法の理解と運用力を身に付け、内容やポイントを理解しているか。 日々の授業、提出物、定期考査等により、総合的に評価する。		

令和 5 年度 年間授業計画

東京都立駒場高等学校

教科名	外国語(英語)	学年学科 (単位数)	3年普通科(2)
科目名	英語演習(a)	授業形態	3年 普通科・保健体育科 (2)
教科担当者			
使用教科書 副教材等	NEO Standard(いいずな書店)		
目 標	基本を見直しながら英語の総合力をつける。重要な語彙、文法、構文の定着を図ると共に、読解に不可欠な英文の論理構成の理解に重点を置いた授業を行う。中堅国公立大学2次試験、難関私立大学入試に適応できる力を養う。		
	予定 時数	項目・学習単元	学習内容・指導目標・留意事項
1 学 期	8	NEO Standard 1, 4, 6, 9	<ul style="list-style-type: none"> ・1文1文の構造を意識し、基本的な読解方法を理解し、身につける。 ・語彙を増やす。
	10	NEO Standard 11, 13, 15, 18, 2	<ul style="list-style-type: none"> ・文章構成を意識して概略及び詳細内容を読み取る。 ・語彙を増やす。
2 学 期	10	NEO Standard 5, 7, 10, 12, 14	<ul style="list-style-type: none"> ・やや複雑な内容の評論、説明的文章をスピードをつけて内容を把握しながら読み切る。 ・語彙を増やす。
	10	NEO Standard 16, 19, 3, 8, 17	<ul style="list-style-type: none"> ・複雑な内容の文章を読解し、設問に対して適切に解答する力を養う。 ・語彙を増やす。
3 学 期	2	大学入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な題材の文章を読み取り、様々な形式の設問に制限時間内に解答する力を養う。
評価の 観点・方法	様々な分野の英文を正確に読み取り、現代社会の抱える諸問題に対する人々の問題意識や思考方法、論理展開を理解することが出来たか、またリーディングスキルが身についているか。定期テストを中心に、授業での取り組み、予復習等の家庭学習の状況を含め、総合的に評価する。		

令和 5 年度 年間授業計画

東京都立駒場高等学校

教科名	外国語(英語)	学年学科 (単位数)	3年 普通科・保健体育科 (2)
科目名	英語演習(β)	授業形態	必修選択・自由選択
教科担当者			
使用教科書 副教材等	Cutting Edge Black (エミル出版)		
目 標	様々な分野の英文を正確に読み取り、現代社会の抱える諸問題に対する英語圏の人々の問題意識や思考方法・論理展開を理解する力を身につける。また重要な文法項目、構文、語彙の定着を目指し、国公立2次・私大問題に対応できる力をつけることを目指す。		
	予定 時数	項目・学習単元	学習内容・指導目標・留意事項
1 学 期	8	Cutting Edge Black 1-2	<ul style="list-style-type: none"> ・動物、言語に関する難易度の高い文章の読解力を高める。 ・構文を理解し、英文をより正確に読めるようにする。
	8	Cutting Edge Black 3-7	<ul style="list-style-type: none"> ・エッセイ、動物、教育、歴史、科学に関する難易度の高い文章の読解力を高める。 ・構文を理解し、英文をより正確に読めるようにする。
2 学 期	10	Cutting Edge Black 8-12	<ul style="list-style-type: none"> ・社会、科学、心理に関する難易度の高い文章の読解力を高める。 ・構文を理解し、英文をより正確に読めるようにする。
	10	Cutting Edge Black 13-14 入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・時事問題、環境に関する難易度の高い文章の読解力を高める。 ・構文を理解し、英文をより正確に読めるようにする。
3 学 期	2	入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・難度の高い入試問題の演習を行う。
評価の 観点・方法	リスニング、作文、読解など総合力をつけ、難関大学合格を目標とする。すべての教材から語彙や文法知識を確かめ、読解では難易度が高く長い文章、リスニングではディクテーション、音読活動を通して、音に慣れさせる。日々の授業での参加や、定期テストを通じ総合的に評価する。		

令和5年度 年間授業計画

東京都立駒場高等学校

教科名	情報	学年学科 (単位数)	3 学年 (2)
科目名	社会と情報	授業形態	必修修 (通常クラス単位)
教科担当者			
使用教科書 副教材等	「高校社会と情報 新訂版」(実教出版) 「パーフェクトガイド情報 Office 2021 対応」(実教出版)		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させる。 ・ 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養う。 ・ 情報社会に積極的に参画する態度を育てる。 		
	予定 時数	項目・学習単元	学習内容・指導目標・留意事項
1 学 期	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報社会 ● 情報安全 ● 情報機器の基本操作 ● ワープロソフトの基本操作 	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報化が社会に及ぼす影響を理解する。 ● 情報を保護することの必要性とそのための法律、個人の責任について理解する。 ● これまで利用してきた情報機器の操作を確認する。 ● ワープロソフトの基本操作を確認し、基本的な文書の構成と設定方法を習得する。
	1 4	<ul style="list-style-type: none"> ● 視覚的な情報伝達 ● ワープロソフトの発展的な使い方 	<ul style="list-style-type: none"> ● 視覚に訴えるチラシやポスターの作成方法を習得する。 ● ワープロソフトの発展的な使い方を習得する。
2 学 期	1 4	<ul style="list-style-type: none"> ● コミュニケーション ● 表計算ソフトの基本操作 ● 表作成のための工夫 ● グラフの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワークの仕組みや情報通信の効率的な方法を理解させ、コミュニケーション手段として効果的に活用する方法を習得する。 ● 表計算ソフトの基本操作を確認し、基本的な関数を理解する。 ● 見やすい表の作成方法を習得する。 ● 効果的なグラフの作成方法を習得する。
	1 4	<ul style="list-style-type: none"> ● 問題解決 ● プレゼンテーションソフトの基本操作 ● 効果的なプレゼンテーション 	<ul style="list-style-type: none"> ● 問題解決の手法や情報を効率よく収集する方法を習得する。 ● プレゼンテーションソフトの基本操作を確認し、情報をわかりやすく伝達する方法を習得する。 ● 効果的なプレゼン資料の作成方法を習得する。
3 学 期	1 0	<ul style="list-style-type: none"> ● 1 年間の総復習 	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書の巻末資料で重要用語を復習する。 ● ソフトウェアの使い方を復習する。

評価の
観点・方法

定期テスト・実技課題、授業態度等により総合的に評価する。